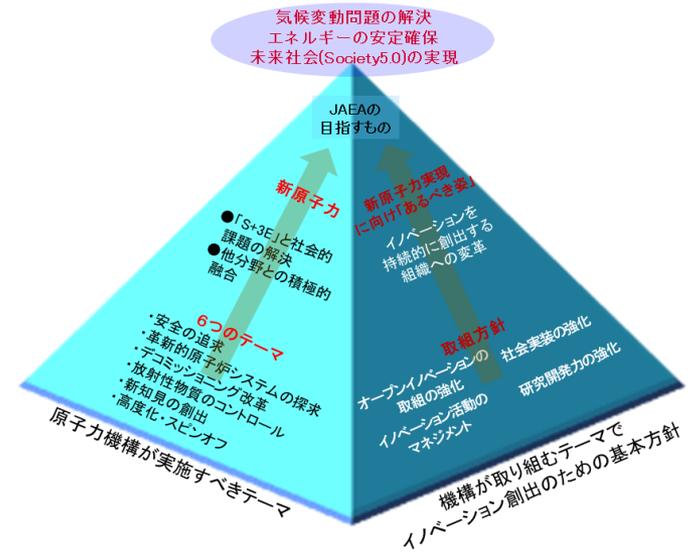


イノベーション創出戦略の改定の考え方

- 将来ビジョン「JAEA 2050+」で掲げた**“新原子力”**の実現に向け、機構の強み・弱みを踏まえた戦略を明確化するため、イノベーション創出戦略を改定。
- イノベーションを持続的に創出する組織に変革するため、以下のように機構の在るべき姿（10年後）を設定する。
 - ✓ 個人及び組織がイノベーション創出に向けた高い意識（イノベーションマインド）と優れた研究開発力を持つ。
 - ✓ 基礎研究・人材育成拠点、「知」の集積拠点及びデータ収集・分析拠点としてオープンイノベーションの中核の役割を果たす。
 - ✓ 成果の戦略的活用方策、ベンチャー創出等に関する制度と支援体制、社会実装及びそれを支援する専門人材を有する。
 - ✓ 機構の有する施設、知識・技術基盤、人材等を生かし、民間におけるイノベーション創出を支援する。
- 在るべき姿を達成するための強化すべき取組として、①オープンイノベーションの取組の強化、②社会実装の強化、③イノベーション活動のマネジメント、④研究開発力の強化、に関して取組方針を示す。



イノベーション創出に向けた取組方針

①オープンイノベーションの取組の強化

- 試験研究炉の運転再開を機に、一般分析機器等も含めた機構の有する施設・設備・機器の利用促進を図り、オールジャパンでのイノベーション創出に貢献していく
- 政府事業への参画を通じて、機構が有する技術基盤等をプラットフォームとして活用することにより、産業界との協働を進め、原子力のエネルギー利用の多様性確保に努める
- 機構と産業界が資金と人とテーマを持ち寄り、組織対組織での大型の共同研究を推進し、連携拠点の形成を目指す



オープンイノベーションの「共創の場」としてのオープンファシリティプラットフォーム (OFP) を構築する

②社会実装の強化

- 原子力機構が創出する研究開発成果を社会実装していくため、コーディネータの役割を見直し、コーディネート活動を活性化していく
- 組織主導でのベンチャー創出と、ボトムアップでのベンチャー創出の活性化を図る
- 自らの知識基盤、技術基盤、知財等の強みを活かす知財マネジメントに取り組む



③イノベーション活動のマネジメント

- イノベーション創出機能の強化を図るため、組織・体制の強化、イノベーション創出までのシームレスな組織マネジメントを実施する

④研究開発力の強化

- イノベーション創出の観点から社会ニーズ及び顧客視点を踏まえた研究テーマを設定し、研究開発成果を持続的に創出していく
- 機構の研究開発のDX化を積極的に進める